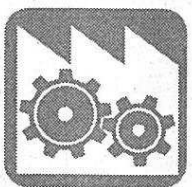


圧縮空気で開閉 防爆シャッター

松江・小松電機産業



シート式シ
ャッター大手
「小松電機産
業」(松江市)

は、圧縮空気をチューブで送って開閉する爆発防止仕様のシャッターを開発した。電気の火花が引火し、爆発の恐れがある化学プラントなどでの使用を想定。帯電防止不燃シートと組み合わせ、爆発防止性能を高めている。

同社によると、プラントの老朽化が進む中小化学工場では、爆発事故防止など安全対策が最大の課題になっている。従来の爆発防止仕様のシャッターは電気で稼働していたが、新製品はグラスファイバーをシートで圧着し、圧縮空気をチューブでシリンダーに送り込んで稼働する。火花が出る可能性がなく、価格を抑えることも可能になったという。既に堺市や島根県出雲市の化学工場などで導入されている。

価格は幅、高さとも3サイズの標準型で約300万円(施工費別)。問い合わせは同社(050・3161

・2487)。